

全国一般全国協

全国一般労働組合全国協議会
編集発行人 遠藤一郎
東京都港区新橋 3-21-7松本ビル
TEL 03-3434-1236
FAX 03-3433-0334

労働運動の再生をめざし

闘うメーデーを闘いとうろう

資本にほんろう

された連合春闘

三月二五日、鉄・造船
自動車・電気・電力・N
TT、三月二七日私鉄と
連合の大手が相次いで妥
結。金額で千円〜千五百
円（私鉄は二千二百円）
率でも四%台と昨年を大
巾ダウンした超低額回答
だ。

騒がれた時短や時間外割
増し率のアップ等は、一
部を除き、成果ゼロに近
い状況であった。

不況が喧伝され、日経
連の「ベアゼロ、時短で
若干の配分を」と言う
ペースに、連合は完全に
支配されてしまった。こ
こ五年間の未曾有の好景
気の中で蓄積した。内部
留保を吐き出させ、生活
改善向上を今年こそ闘い

取ろうという決意も意欲
も、どこにも見られな
かった。私鉄の十数年振
りのストも、組合のトッ
プが了解したあとのスト
突入で、資本に足元をみ
られ、何の成果も上げる
ことが出来なかった。

総資本と総労働の対決
官も民も、大手も中小も
力を結集して総資本に要
求をつきつけ、解決を
迫っていくという、本来
の春闘は、構造的に崩壊
させられてしまった。こ
のままでは、中小労働者
が取り残され切り捨てら
れてしまう危険がある。

春闘再構築へ

闘う労働運動の再構
築、労働者の権利を再確
立していく闘いとして、

我々が一から春闘をつく
り変えて行かなければな
らない。

国鉄闘争支援に

全力を

国家的不当労働行為を
糾弾し、労働者の権利確
立の闘いの柱である一〇
四七名の首切り撤回・国
鉄闘争勝利の闘いに全力
でとりくみ、四月一杯、
ねばり強く、大巾賃上げ
時間短縮、権利確立、反

合理化の中小春闘を闘い
抜こう。

闘うメーデーを

その闘いの中で、多く
の官民の仲間を結集し、
労働運動の原点「人間
らしい労働と生活の確
立」のために「八時間労
働制の実現」を血と汗を
流して闘いとってきた労
働者の国際記念日「メー
デー」を、闘うメーデーと
して成功させよう。

東京

日比谷公園

開催 一〇時〜
デモ 一一時〜

●主催
メインスローガン
働く者の団結で生活と
権利、平和と民主主義を
守ろう。

大阪

中之島公園

●主催
開催 九時〜
メーデー実行委員会
(大阪全労協呼びかけ)

神奈川

●主催
開催 一〇時〜
デモ 一一時五〇分
メーデー実行委員会

●主催
第六三回日比谷
メーデー実行委員会

●主催
開催 一〇時〜
デモ 一一時五〇分
メーデー実行委員会

各地のメーデー



全国各地で、一発回答・一発妥結をはねのけ 中小労働者の権利春闘盛りあがる

東京

4・3統一スト貫徹

統一スト集會に六五〇名結集

三月二六日、東京の中小労組が中心となって春闘決起集會が開催された。中小労組の連絡組織「東京中小連絡会（リンクス）」をはじめ、権利春闘全都連絡協の仲間、約二五〇名が結集して、前日の連合大手組合集中回答による低額・管理春闘を跳ね返す決意を固めた。ストライキで闘う職場の決意を確認した後、銀座テモ行進に出発した。中小未組織の闘いをアピールする宣伝カーに唱和するデモ隊に、沿道の労働者・都民からは激励の声が寄せられた。この集會デモは、四・三全都統一ストライキに連なる闘いとして取り組まれた。

東京では毎年、春闘前半の山場となる四月上旬、全国一般を中心に地域統一ストライキが取り組まれてきた。今年は、

連合が三月末決着の方針を取ったため各地域でのバラツキが心配されたが、全国協の統一闘争を軸にして、各地域の闘いも合流することが出来た。四・三当日、全国協では五分会千四百名が午後からの半日ストライキに立ち上がった。多くの職場では、回答引き延ば

宮城

3・25宮城春闘共闘

全国一日行動で決起

J・C回答が集中する三月二五日、宮城春闘共闘委（宮城合同も参加する宮城全労協がよびかけ、宮城県教組なども加わった春闘共闘組織）は、午前八時より春葉通り電話局前で電通労組のスト突入集會、十一時より労働基準局との交渉、十五時半より宮城合同赤門自動車学校支部二時間スト社前集會、十八時より春闘

しが続いていたが、徹底した職場討論を背景に、統一ストライキへと整然と突入した。

東京北部では、スト突入後、残業手当減らしの偽時短と闘うアコム分会はじめ拠点三方所の激励行動が取り組まれた。

南部では二時から統一スト集會をもち、北部の

決起集會・デモと、ストを含む全一日行動で決まった。

J・Cの超低額回答に抗議意思統一した。

議し「中小春闘はこれからだ、粘り強く闘おう！」を合言葉として、

仲間の到着を待った。集會会場となった東交館には、会場に入り切れないほどの六五〇名の仲間が結集した。はじめて春闘を闘う仲間、女性権利確立を闘う仲間、高齢者職場で頑張る仲間など特徴的な闘いの報告のほか、時短にとりくむ寸劇披露など闘う熱気の中にも、創造的な闘いをめざす。心意気に満ちた集會となった。全国協の仲間

は奮闘している。

神奈川では、昨年末誕生した県共闘が、三月十三日春闘決起集會を開催し、結集した官民労組の闘う方針の報告と決意が成された。

四月一〇日には、かながわ地域交流（国労・県高教組・全造船・ハイタク等）と県共闘の共催で全日行動がもたれた。地域で闘う争議組合への支援行動や行政交渉を行い、夜には国労への激励と総括集會が開催され、日中は一四〇名、夜は二会場で三〇〇名の仲間が結集した。

神奈川

組織化交流会

■六月二〇日午後一時～五時
■浜松町 「海員会館」

■内容
①業種、産別報告
②外国人労働者の組織化
③労働者像の変貌

中央委員会

■六月二一日午後九時～十二時
■浜松町 「海員会館」

■内容
①経過報告 ②九二春闘総括
③大会議案審議 ④その他

争議報告

大鵬薬品は組合つぶしをやめろ

6・1大 大鵬薬品30周年

記念行事に抗議行動

総評全国一般大鵬薬品工業労働組合

大鵬薬品は、大塚グループの一企業です。一

九八一年発癌性の疑いのあるデータを隠し、薬を販売。これに対し「自らの手で薬害をだすな」を合言葉に、販売中止と劣悪な労働条件の改善を掲げて、労働組合を結成しました。これに対して



10年目にして30センチだけやっと開いた扉 (1991・3・)

会社はあらゆる組合潰しを行い、現在までに十七

件の労働事件が発生してきました。私たちは法廷闘争と並行して抗議行動で頑張っています。

昨年度は東京総行動、大阪等の代理店を直接要請行動、大鵬薬品株主総会に対する要請行動地区

ビラ配付等に取り組んできました。

これまで三度にわたる和解交渉が決裂。本社は十一年間一切交渉団を受け入れない状況が続きましたが、昨年始めて交渉

団を受け入れるに至り、現在、予断を許しません。組合と会社は労使正

常化をめざし、当事者間交渉を開始しました。闘う組合の原則を崩すことなく、取り組む決意です。

法廷闘争においても、担務変更事件について、昨年二月徳島地労委において勝利命令が出され、運動が大きく前進しています。とはいえ会社は、未だ以てこの組合を認め

ようとせず、賃金差別・昇格差別等、現在も組合潰しを続けています。

また、親会社である大塚製薬において、心臓薬「アーギンZ錠」のデータ捏造事件が発覚し、やっぱり大鵬薬品と同じ穴のムジナであることを示しました。組合はこの事件についても質問状を出し、厚生省交渉を行いました。社会的役割も果たしてきました。

三〇周年の記念事業を企画していますが、組合はこの行事に闘いの焦点をあて、会場前における千九百人集会を企画し、取り組んでいます。今、皆さんのご支援を得て運動が大きく前進してきています。ここで更に運動を前進させたいと思っております。皆さんのご支援を宜しくお願いします。

嘉飯山合同労組・その後 一九九二年三月二十五日

全国一般嘉飯山合同労組

組合長 長嶋三郎

組織の再建と九二春闘勝利に向けて

今回の嘉飯山合同労組の組織崩壊の危機に対し、間髪を入れず的確な指導と、物心両面にわたる支援について、全労協並びに全国一般全国協に対し、心から御礼申し上げます。

おかげをもちまして、新役員を始め組合員一同、去る二月五日の全国一般全国協中央執行委員会の「嘉飯山

に、脱落、第二組合結

合同労組の諸事態に関する声明」にあるように、(1)合意に基づく組合運営、組合民主主義の再構築、(2)九二春闘は徹底した大衆闘争を組織し、組織再建をかけて闘う、以上の二点を柱に、二月十七日には臨時大会を成功りに開催し、闘いを進めてきました。

残念ながら、一部

を表明し、嘉飯山合同労組の事情報告とします。

成もありましたが、十二支部(組合員四〇〇名)は、他団体並びに会社の組織攻撃にもかかわらず、組織再建と九二春闘勝利に向けて力強く立ち上がる事ができました。われわれは、全労協傘下の組合として、全国一般の仲間とともに闘う決意を表明し、嘉飯山合同

を表明し、嘉飯山合同

を表明し、嘉飯山合同

団体
紹介
友宣
闘争

外国人英会話労働者の集い

大阪ゼネラルユニオン

ゼネラルユニオンは三月二〇日「英会話労働者の集い」を開いた。外国人労働者を含めて約60人が参加した。

英会話ブームで多くの英会話学校が設立されて

いるが、経営がいい加減だったり、経営者から不当な扱いを受けている労働者が激増している。今回の集いは、そうした事態をふまえて、日本の労働法のレクチャーとさま

ざまな経験の交流を目的に開催された。集いでは、許可がいらず安易に設立できる一方で、倒産・閉鎖・逃亡もイージーに行われている実態が報告されるとともに

経営者が人権や労働権に無自覚で、抗議すると解雇やビザ関連の嫌がらせをするなどの問題点が指摘された。また、自己破産申請が出され賃金未払いになっているケースで、労働債権立替払い制度による補償を申請している取組も報告されたが、先払された生徒の授業料が戻らないという別

の問題もだされた。こうした英会話労働者への問題に対処するための方と労基法の解説や健康保険・労災保険・失業保険の加入要求などが

説明された。問題が個人で解決出来ない場合は、ゼネラルユニオンが相談に乗って解決をはかることもアピールされた。

6 / 20 「産業再編動行と組織問題」

交流会の成功に向けて

主催 全国一般全国協議会

とき 92年6月20日① ところ 東京浜松町海員会館
13:00~17:00 03-3433-5688
参加予定者 45人 JR 浜松町駅竹芝口下車徒歩1分

来る六月二〇日、全国協の主催で「組織化問題」交流会が開催されることとなった。全国一般全国協の各地方参加組織にとつて、もっとも重要で関心の高いテーマといえる。従来の総評全国一般時代の「方針と方法」——経験主義的手工業的オルグ活動——では、まったく対応出来ないほどに、最近の私たち労働組合を取り巻く環境と条件は大きく変化している。

その新しい変化と動向を的確に把握するとともに、各地方参加組織の最新の組織化経験とその苦闘の教訓を明らかにし、私たち全国一般全国協の新たな組織化の方向制を発見することが、今回の会合の意義と言える。当日の会合では、以下のような「テーマと報告」で討論されることになる予定、各地の組織化問題に関心のある人々が多数参加して、論議を重ね、今夏に予定されている第二回大会の方針を、より実りあるものにするのが期待されている。

テーマと報告

- 各産業・業種別再編の中での組織化の経験
- 1 医療——神奈川地連
- 2 福祉——東京労組
- 3 自治体委託——神奈川地連
- 4 食肉市場——神奈川地連
- 5 自動車教習所——南部支部
- 6 学校関連——宮城合同
- 7 書店——東京労組
- 8 外国人——南部支部

●労働者像の変貌と未組織労働者の各階層の意識変化について——本部

私たちが闘う仲間の皆さん・日々のご健闘に敬意を表します。私たちが闘う仲間は、神奈川県川崎市の北部にある精神科単科の病院（病床数三八〇床、職員数一四〇名）の労働組合です。組合員は六三名と少ないのですが、神奈川地連や全国精労協（全国精神医療労働組合協議会）などのバックアップがあり、職場での影響力は大きいものがあると自負しています。しかし精神病院の賃金や労働条件世間水準と比較してかなり劣悪で、そのため人手不足が慢性

化しています。休みがとれない、との不満もうっせきしています。経営者のいい加減さに、労働者の怒りが高まっています。労働組合が取り組んでいかなければならない課題はたくさん残されています。生田病院支部は、神奈川地連では珍しく争議を経験していない組合ですが、今春闘ではスト権を背景にしながら大巾賃上げの獲得、人員補充、施設の改善などのため闘う覚悟でいます。五月が山場です。ご支援をよろしくお願いします。